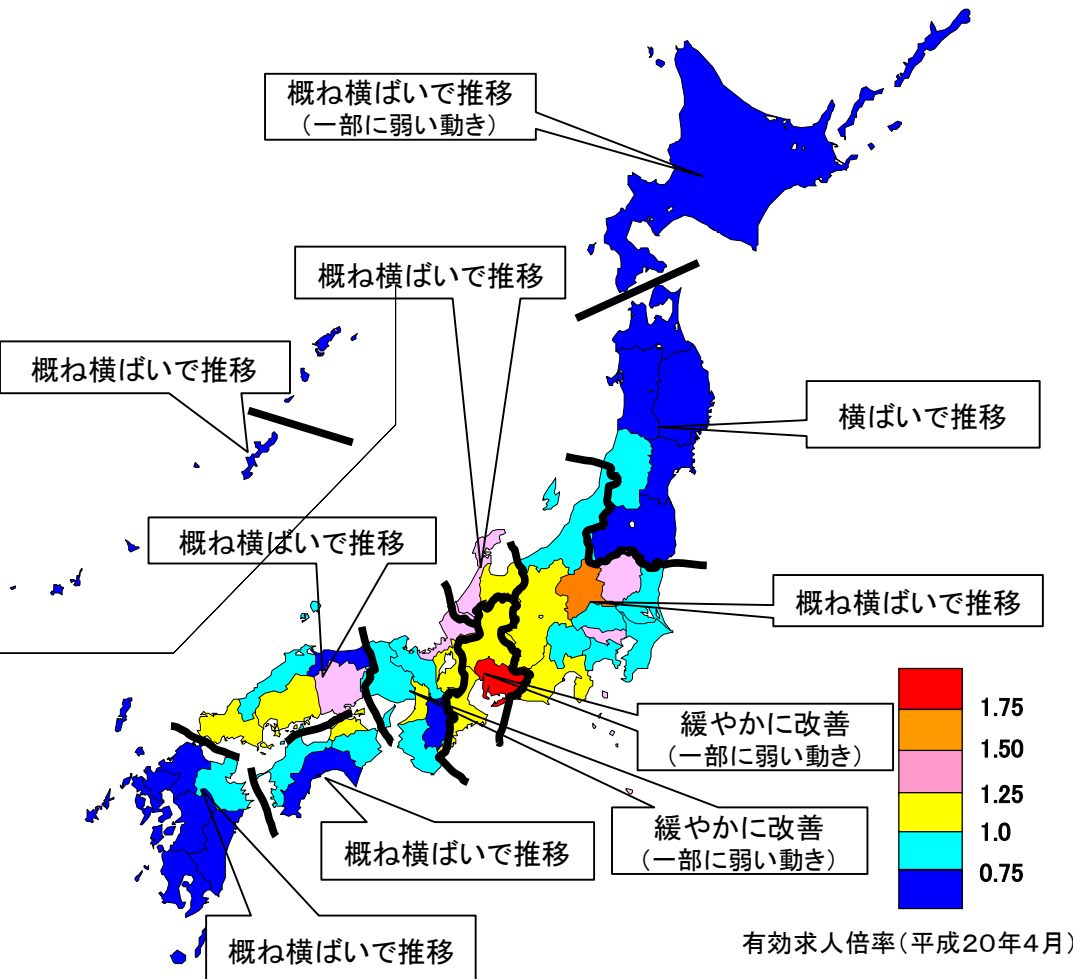


地域の景況は、概ね横ばいで推移するも、一部に弱い動きが見られる。(8地域で景況判断を下方修正)

～ 原油価格高騰等の影響から、中小企業を中心に景況感等が悪化 ～

	19年6月 (第20回)	19年10月 (第21回)	19年12月 (第22回)	20年2月 (第23回)	20年6月 (第24回)
全国	→	→	↘	↘	↘
	ばらつきが見られるものの引き続き改善傾向にある。		緩やかな改善傾向にあるものの、ばらつきがみられる。		概ね横ばいで推移するも、一部に弱い動き。

	19年6月 (第20回)	19年10月 (第21回)	19年12月 (第22回)	20年2月 (第23回)	20年6月 (第24回)	コメント	有効求人倍率※ 全国平均 0.93
北海道	↘ 概ね横ばいで推移	→	→	→ 概ね横ばいで推移	↘ 概ね横ばいで推移 (一部に弱い動き)	原油・原材料の高騰による収益等への影響が強まっており、業況は厳しさが増している。	0.32 (0.46)
東北	→ 緩やかに改善	→	→ (先行きに不透明感)	↘ 横ばいで推移	→ 横ばいで推移	原油・原材料高により業況は弱い動き。雇用も低下傾向。消費マインド冷え込みで個人消費弱含み。	0.66
関東	↘ 緩やかに改善	→	↘ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	→	↘ 概ね横ばいで推移	原油・原材料価格の高騰により業況が悪化。生活防衛意識が高まり、個人消費も弱い動き。	1.11
中部(東海)	↘ 緩やかに改善	→	→	→	↘ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	全体では緩やかな改善が続いているが、電子デバイスで市況が悪化、部材産業や中小企業などでは原材料高騰で収益圧迫。	1.56
中部(北陸)	↘ 緩やかに改善	→	→	↘ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	↘ 概ね横ばいで推移	一部業種が低調も一般機械等高水準横ばいで概ね横ばい。非製造業は諸物価上昇から消費マインド低下で低調。	1.17
近畿	→ 改善している	→	↘ 緩やかに改善	→	↘ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	設備投資や輸出に支えられ、緩やかに改善しているが、原油・原材料高騰により業況は弱い動き。	0.94
中国	→ 緩やかに改善	→	↘ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	→	↘ 概ね横ばいで推移	原油・原材料高などの影響で、業況は総じて弱い動き。物価上昇による消費者の生活防衛意識から消費マインドの低下を懸念。	1.07
四国	→ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	→	→	↘ 概ね横ばいで推移	→ 概ね横ばいで推移	原油・原材料価格の高騰に加え、円高による収益圧迫などの影響も見られるなど、業況は、全体としては弱い動き。	0.86
九州	→ 緩やかに改善	→	↘ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	→	↘ 概ね横ばいで推移	原油・原材料価格の高騰により、企業の業況感が悪化。生活必需品の値上げを背景に、消費マインドの低迷感が広がる。	0.67
沖縄	→ 緩やかに改善	→	→	↘ 緩やかに改善 (一部に弱い動き)	↘ 概ね横ばいで推移	原油・原材料価格の高騰により業況が悪化。物価上昇が個人消費へ与える影響を懸念。	0.40



※月間有効求人倍率 4月(季節調整値)資料 厚生労働省「職業安定業務統計」により作成